

# TANPEN塾

## 集中講座〈5回シリーズ〉

2020/1/29～2/26〈毎週水曜日〉18:00～20:30

会場：(株)クリーク・アンド・リバー社 5階 ホールA  
港区新橋4-1-1 新虎通り CORE

「映文連 TANPEN塾」は、今日のメディア状況を踏まえながら、これから映像業界で活躍する人材育成をめざす講座です。業界で活躍する講師陣をお招きし、短編(TANPEN)映像に関して、様々な角度から映像の作り方を伝授します。これから業界へ入る学生や制作プロダクションで働く若手制作者は勿論のこと、経験を積んだ人も聞きたくなる、創作の極意やプロデュースの秘訣を知ることができる講座内容となっています。

## 1/29 広告クリエイティブ



### 第1部 共犯的広告制作論

田辺俊彦氏

(株)電通 第4CRプランニング局 クリエーティブ・ディレクター/CMプランナー

トヨタ自動車の初めてのグローバルキャンペーンを2018年平昌オリンピック・パラリンピック冬季競技大会、第52回スーパーボウルという世界最大の舞台で成功させる一方で25年前の渋谷に安室奈美恵さんをタイムスリップさせたNTTドコモの広告などが評価され、2018年クリエイター・オブ・ザ・イヤー受賞。「誰もが共感できるテーマで、誰も見たことがない話を作る」という氏に広告クリエイティブの手法について聞く。



### 第2部 商品をメジャーにする表現

井村光明氏

(株)博報堂 第3クリエイティブ局 クリエーティブディレクター

1968年広島県生まれ。東京大学農学部卒業後、1991年株式会社博報堂入社。飲料、医療系サイト、地方自治体、食品など幅広い得意先業務を担当。UHA味覚糖の「さけるグミ」のCMシリーズで「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS 2018」総務大臣賞/ACCグランプリ、「TCC賞」グランプリを受賞。商品をメジャーにするには、どんな広告表現を用いれば可能か、受賞作の誕生秘話を中心に語る。

## 2/5 Webメディアでの映像制作



### 第1部 5G時代に間に合わせる動画化施策

大塚宥吾氏

Kaizen Ad シニア アカウント エグゼクティブ

今年、2020年に商用リリースが予定されている5G。何か始めたいけど、どうしようかな?という相談が最近かなり増えている。チラシ、DM、クーポン、カタログ、営業資料、POPなど、どんな素材からどんな動画がつけられるのか?また広告だけではないLP、CRM、サイネージ、営業ツール、新しい商品企画としてどんなふう動画を活用できるのか?最新の事例も含めて紹介する。



### 第2部 Webメディアが今逆算すべき動画界の現状

関ロケント氏

(株)Wednesday 代表取締役 CEO

26歳で当時大流行中の妖怪ウォッチ公式YouTubeチャンネルを立ち上げ、チーフプロデューサーとして運用。2017年に(株)テクサの執行役員に就任。約30人のYouTuberのチャンネルコンサルティングを担当し、多くの人気YouTuberを育てる。2018年にはヒカルや加藤純一らも出演したクリエイターフェス「うず祭り」を企画・総合プロデュース。2019年12月には芸能人・文化人・アスリートのデジタルメディアにおける活動を企画・制作・運営するサポートサービス「デジタルメディアレーベル」の提供を開始。様々なタレントのYouTubeチャンネルを手掛ける氏に動画界に現状について聞く。

## 2/12 企業映像の可能性



### 第1部 人生の選択肢となり得る企業映像

齊藤真弘氏

CREATIVE EGG 代表/ディレクター

2001年武蔵野美術大学卒業。テレビ番組制作を経て2009年(株)揚羽へ入社。企業のHR領域やインナーブランディングに特化した映像制作に携わり、2015年に独立。日本橋浜町の開発を手掛けた不動産会社の採用映像「粋な仕事」で映文連アワード2019の《経済産業大臣賞》を、JR東日本の採用映像「BE CREATIVE」で《部門優秀賞》をダブル受賞。企業映像の制作現場におけるトレンドを語る。



### 第2部 ドキュメントでWeb映像をつくる

稲井耕介氏

(株)たき工房 映像ディレクター

様々な人々にテストを受けさせ、回答について解き明かしながら新しく誕生した国・南スーダンの過酷な現実をスマートに訴えるWeb映像「答えは変えられる。」(国境なき医師団日本)で映文連アワード2019《準グランプリ》を受賞。アイデアの出し方や演出・撮影の工夫などについて語る。

## 2/19 映画業界のこれから



### 第1部 映画業界、カメラ止め前と後、そして未来

市橋浩治氏

ENBUゼミナール 代表取締役社長

1964年福井県生まれ。大学卒業後リクルートへ就職。2009年にENBUゼミナールのための会社を自ら設立。ndjc2009「アンダーウェア・アフェア」(岨手由貴子監督)を初プロデュース。2011年よりシネマプロジェクトを立上げ、「オチキ」「サッドティ」「退屈な日々にさようならを」など話題作をプロデュース。第7弾として「カメラを止めるな!」(上田慎一郎監督)を2017年に製作。2018年インディペンデント映画として異例の大ヒットとなる。映画業界の今とこれからについて語る。



### 第2部 拡大する動画配信サービスの動向~Netflixの現場から

上木則安氏

(株)ソニー・ピクチャーズエンタテインメント プロデューサー

1959年生まれ。東宝(株)入社後、日本衛星放送(株)(現WOWOW)、JSKYB(現スカパー! JSAT)、ワーナーブラザーズ/ローカルプロ、Netflix JAPANの立ち上げなどに参加。主なプロデュース作品に「教師びんびん物語」、「テレビがテレビでなくなる日」。配給担当作品に「サマーウォーズ」、「銀魂」、「アウトレージ」、「るろうに剣心」シリーズでは製作も担当。配信番組に「深夜食堂TOKYO STORIES」、「火花」、「デビルマン クライベイビー」などがある。動画配信サービスの最近の動向について語る。

## 2/26 映像技術の今、そして未来



### 第1部 放送番組のIP時代到来

井田善博氏

(株)NHKテクノロジーズ テクニカルディレクター

村上篤史氏

(株)NHKテクノロジーズ ビデオエンジニア

2018年4K対応のIP中継車を導入。従来のHD制作と比べ技術的課題が多い4K制作を、映像、音声、制御のIP化により、HD制作同等以上の制作環境を提供する。大型スポーツ中継、音楽ライブ中継などでのこれまでの運用実績により、今後の動向や展望について語る。



### 第2部 AIと放送の未来

村上建治郎氏

(株)Spectee 代表取締役 CEO

AIでテレビや放送がどう変わるのか?いま映像制作の現場や放送局そのものの働き方にまでAIが浸透し始めている。AIを活用した報道支援サービスやAIアナウンサー、AI天気などを提供するAIを活用する情報解析会社スペクティが、AIでいま何ができて、これからどう変わっていくのか、国内外の最新の事例をもとに解説する。

人材育成セミナー  
映文連  
TANPEN塾

#### 募集人員

40名(申込み先着順、定員の都合上、全コース申込みを優先いたします)

#### 受講料

5回全コース 会員30,000円、一般35,000円、1回券 会員7,000円、一般8,000円(税別)

#### 問い合わせ・申込先

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町17-18 藤和日本橋小網町ビル7階  
公益社団法人 映像文化製作者連盟 TEL: 03-3662-0236

#### 申し込み方法

申込者の氏名、会社名、連絡先、希望コースをご記入の上、FAX(03-3662-0238)又はE-mail(info@eibunren.or.jp)でお送りください。申し込み後、受講料の振込先をご連絡します。お振込確認後、受講券をお送りいたします。

映文連 TANPEN塾 人材育成セミナー	会社名	(申込書)	ふりがな 氏名
	住所		受講希望コース
	電話番号	F A X	<input type="checkbox"/> 全5回コース 名 / <input type="checkbox"/> 1回券第( )回 名
			E-mail